

経済倶楽部便り

◆東京◆ 3月の最初の講師として近現代史の研究者でノンフィクション作家の保阪正康氏をお呼びしました。今回は70年前の戦争を軸に話

されましたが、印象深かったのは敗戦時に軍閥係者が記録をほとんど焼却してしまい、歴史研究上の欠落を生んでいること。さらに、考えてみれば当たり前ですが、国内の生活者でも軍需工場のある都市とそれ以外とは、空襲体験即戦争体験に大きな差があるとのことでした。詳細は次号をお読み頂きたいと思います。

3月入会の新会員をご紹介します。塚本隆史・みずほフィナンシャルグループ常任顧問、

林信秀・みずほ銀行取締役頭取、寺尾達朗・みずほ銀行日本橋支店部長の3名の方です。

5月の講師は以下の方を予定しています。ノンフィクション作家の塩田潮氏、吉川洋・東京大学大学院教授、渡部恒雄・東京財団主席研究員、高原明生・東京大学大学院教授です。

◆中部◆ 名古屋では3月の講師の原田泰・早稲田大学教授に今年の経済見通しをお願いしました。原田氏はその後、3月末に日銀審議委員に就任することが決まりました。審議委員は「景気見通し」を自由に話せないそうですが、今回は就任前ということで事なきを得ました。

5月の講師は野口悠紀雄・早稲田大学ファインانس総合研究所顧問、星浩・朝日新聞特別編集委員を予定しています。
(日暮良一)